



学校だより

ニュース 東六

令和4年 1月11日発行
No.14 新年号
仙台市立東六番丁小学校
222-4216

ウェブページ <http://www.sendai-c.ed.jp/~touroku/>

あけまして おめでとうございます



新年おめでとうございます。寒さが厳しい年明けとなりましたが、どのようなお正月を迎えられたでしょうか。「お正月」とは、一年の始まりであり、春の始まりでもあります。先人たちは、春が訪れ新しい生命が生まれることを心から喜びました。また、今年「寅年」です。寅は十二支の3番目で、子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で芽が育ち、寅年になって春が来て、根や茎が生じて成長し、草木が伸び始めると伝えられているそうです。子供たちにとってこれからの3か月は、学年のまとめをする時期となります。一人一人がきれいな花を咲かせ、大きな実を実らせて次のステージへ進むことができるよう、教職員一同、努力していきたいと考えています。今年もこれまで同様、ご理解ご協力をお願いいたします。

“ちゃんと” について考える

校長 木越 研司

先日ある教室で

「今日のめあては『ノートをちゃんと書く』だけど、『ちゃんと』ってどういうこと？」というつぶやきが聞こえました。

「ちゃんと」ってよく使いますよね。「ちゃんと片付けなさい」「ちゃんと食べなさい」「ちゃんとできた？」「ちゃんとしてよ」などなど。

辞書を引くと「すばやく、さっと」「基準に合致し、条件を十分に満たしているさま」「確かで間違いのないさま」などと載っています。

この意味に当てはめてみると「ノートをちゃんと書く」は、「すばやく正しくノートに字を書く」ということになるかと思えます。

ではなぜこの子は「ちゃんと」について疑問を持ったのでしょうか。

例えば、「くだものを食べよう」と言われて、何を想像しますか。リンゴが好きな人はリンゴ、ミカンを食べたい人、ブドウを思い浮かべた人、季節によっても思い浮かべるものは様々だと思えます。しかし「くだもの」という特定の食べ物はありません。「くだもの」は様々な種類の果実の総称です。

私たち大人は、いろいろな種類の果実を食べて、それがどんな食べ物であるかという共通点を理解した上で「くだもの」と言うようになります。

言葉を覚えたての子供にリンゴを見せて「これはくだものだよ」と教えたら、「リンゴ＝くだもの」で、ミカンやブドウはくだものではないということになります。

「ちゃんと」もそれに似ていると思います。その場面や状況に合わせてふさわしい態度や行動を総称して「ちゃんと」とだいたい大人は理解できます。でも、人生経験が少ない子供にとっては、ちゃんとすることがどういうことなのか具体的に分からないことがあります。例えば、地下鉄やエレベーターでは降りる人が優先で、乗る人は後とか、クラシック音楽のコンサートでは演奏中に入りはもちろん咳払いもしてはいけないとか、教えられなければ、分からないことはたくさんあると思います。

似たような言葉遣いに「はやくしなさい」があります。朝の登校前や夜寝るときに「はやく」ってつい言ってしまいがちです。「はやく」って行動のスピードをアップしなさいということなのか、時間が迫っているということなのか、理解できないことがあるかもしれません。そんなときは「時計の針が〇〇に来たら出かけるからね」とか「何時何分には布団に入ろうね」などと言った方が子供にとっては具体的です。

「ちゃんとってどういうこと」とつぶやいた子が、こういうことへの疑問の芽を持っていたとしたら、すごいことだと思いませんか。

ここまでちゃんと読んでくださってありがとうございます。さてこの場合の「ちゃんと」の意味は何でしょうね？今年も子供たちの姿から様々なことを考えてみたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。